

# 角館

## のお祭り

令和8年 9月7日(月)・8日(火)・9日(水)

角館祭りのやま行事「ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財」



### ◆曳山のみどころ

**七日** 午後四時  
神明社参拝、十八台の曳山が一斉に神明社へ  
午前十時  
各曳山が武家屋敷通りに入り佐竹北家・当主へお見せにまいります。  
合わせて、飾山囃子コンクールも行われます。  
午後六時、町内十ヶ所で観光やまぶつけ(次頁別表)、  
薬師堂参拝のほか各曳山とも町内に見せながら自由に動きまわります。  
**九日** 午前十時  
薬師堂参拝の曳山、あるいは町内に見せる曳山など。夜八時頃夕食後、  
各曳山は偵察員を出し作戦を練りながら曳山ぶつけの相手はどこか、一番スリルに富んだ時間となります。十日未明まで続きます。

### ◆お祭りの解説

**山車(曳山、やま)** 祭の「余興」として出されたものですが今では祭の主役のようになっています。古くは薬師堂の祭にいたものといわれています。  
**上りやま** 目的の地(神明社、佐竹北家、薬師堂)へ向かうときの曳山をいいます。囃子は重々しく、ゆったりとしたセーヤードンという囃子です。  
**下りやま(道中)** 目的の地で参拝、お見せした後の帰りの曳山をいいます。囃子は、ベレレ、ベレレと軽いテンポで、道中ともいいます。  
**交渉(こうしょう)** 曳山が丁内に入るとき、曳山と曳山が出合ったときに交渉といって黄色いタスキをかけた曳山の交渉員が挨拶と話し合いをします。曳山では重要な役目で交渉状況により道をゆずることになります。  
**張番(はりばん)** 各丁内に設置され、神明社と薬師堂の御輿を迎えて町内の安全、加護をお祈りするとともに、曳山の出入りの許可や町内でのトラブルの交渉にあたります。各丁内とも年番組織で運営をしています。昔は自丁内の曳山の動きもここから指揮しました。

ご協賛ありがとうございます

**味噌・醤油・漬物 安藤醸造**  
本店/仙北市角館町下新町27  
TEL0187(53)2008 FAX0120(980)080  
北浦本館 花上庵 仙北市角館町表町下丁8  
TEL0187-54-2527 FAX0187-53-3767  
http://www.andojyozo.co.jp

**株式会社おもてなしせんぼく**  
秋田県仙北市角館町西長野古米沢 30-19  
TEL0187-55-5888  
ご宿泊・各種ご宴会承ります

**花葉館**  
TEL 0187-55-5888  
西木温泉 山あいのプラザ クリオン  
TEL 0187-47-2010

**創業1924年 100年企業**  
地域密着型  
未来へ  
株式会社 瀧神巧業  
水門工事・建築工事・土木工事 I ドローン教育・測量・点検  
創業1924年 地域の発展と伝統を支え、次の100年へ

**LAWSON**  
角館岩瀬店 55-1107  
角館武家屋敷店 53-3707

**くらに合ったちょうどいい**  
●食べきりでちょうどいい  
●美味しいものを食べたいだけ  
グランマートは、あんべいい商品をご提案しております。

**Wonder Mall**  
仙北市角館町上菅沢442-1  
TEL0187(54)1600  
食料品売場 朝9時～夜10時まで営業  
衣料品売場 朝9時～夜9時まで営業

**角館でお食事は**  
和のあ 角館  
レストラン 角館 水鏡  
TEL: 0187-49-7170

**Rakuten Mobile for 秋田**  
秋田県強化宣言  
ギガ・通話 3GBまで 880円/月～2880円/月  
無制限! 998円/月～3168円/月  
近隣店舗情報  
楽天モバイル イオンモール大曲店  
TEL014-0033 秋田県大曲市和合平277  
イオンモール大曲店2F  
予約専用 050-5840-0321  
営業時間 10:00～19:00

**株式会社 瀧神巧業**  
水門工事・建築工事・土木工事 I ドローン教育・測量・点検  
創業1924年 地域の発展と伝統を支え、次の100年へ

元祖究極の比内地鶏親子丼が食べられる店  
**桜の里**  
TEL014-0325 秋田県仙北市角館町東湯澤79  
TEL0187-54-2527 FAX0187-53-3767  
http://www.sakuranosato.net

秋田地酒、民芸品の店  
**樹の下や よしなり**  
祭典用箱入お酒販売中  
角館町表町下丁 TEL0187-55-4133

角館桜皮細工センター  
**たてまつ**  
KABAZAUKU  
お土産処、史料館、着物体験  
TEL014-0318 秋田県仙北市角館町中町25  
TEL.0187-55-1320

**祭りの装束**  
お祭りっ子御用達  
**あう屋**  
TEL/FAX 0187-53-2413

**田鉄産業**  
有限会社  
仙北市角館町下菅沢110-1  
TEL.0187-54-4011

**角館武家屋敷 青柳家**

自家栽培 石臼挽自家製分  
十割手打蕎麦処  
**そばきり長助**  
住所 014-0324 秋田県仙北市角館町小人町28-5  
電話 0187-55-1722

**角館 角館 INAHO**  
無添加のこだわり  
TEL 0187-54-3311

彫刻造形 祭典人形 木工・木型  
**角館 角館**  
kakunodate.com

好みの蒸留酒を樽で熟成。  
**穂樽**  
TEL0187-54-4011

総合建築業・クレーン作業・宅地内支障木伐採作業  
**石建工業**  
TEL 0187 (44) 2046  
FAX 0187 (44) 3821

**スガワラショップ**  
清酒 西部若者 販売元  
TEL 0187-55-2242

**角館 角館**  
TEL 0187-54-3311

手打ちそば お祭りは冷たい肉そば  
**野の花庵**  
角館町上野139-4 TEL0187-54-3787

あきた芸術村  
**温泉 ゆぽぽ**  
TEL0187-44-3333

**PLAIN WOOD 黒澤製材所**  
株式会社  
秋田県仙北市角館町水ノ目沢79-1  
TEL 0187-53-2504

**ALSOK 秋田株式会社**  
本社 TEL 018-888-2300  
大仙支社 TEL 0187-63-8199

**角館 角館**  
TEL 0187-54-2367

**東北労働金庫 大曲支店**  
TEL 0187-63-4100

**Kanadevia**  
Technology for people and planet  
カナデビア株式会社 東北支社  
〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央1-6-35  
TEL 022-712-6066 FAX 022-712-6070

**角館漁業協同組合**  
〒014-0346 仙北市角館町川原中道41  
中川コミュニティ内

電気設備工事施工  
**角館電工(有)**  
角館町川原堂ノ沢26番地1  
TEL 54-2432 FAX 54-1889

仮設工事・倉・土木工事  
**菅原建設**  
代表取締役 菅原 清平  
仙北市角館町雲然上町屋158-11  
TEL 54-4338 FAX 55-4310

**仙北市商工会**  
〒014-0327 秋田県仙北市角館町上新町43-1  
TEL 0187-54-2304 FAX 0187-54-2305

**中仙店**  
秋田県大曲市下野字上中嶋51番地  
TEL0187-52-0661

マナーを守り楽しい釣りを!!  
**角館漁業協同組合**  
〒014-0346 仙北市角館町川原中道41  
中川コミュニティ内

**キワコト jeki**  
TEL 0187-55-1722

**角館 角館**  
TEL 0187-54-2367

一般社団法人  
**仙北市農山村体験推進協議会**  
TEL 0187-43-2277 FAX 0187-55-1515

パソコンサポート  
**infotech**  
TEL 014-0369 角館町上菅沢458-1

有限会社 村田弘建築設計事務所  
代表取締役 村田 良太  
秋田市八橋三和町18番15号  
TEL (018)823-4345  
http://www.mrt-arch.co.jp

**株式会社 松本印刷**  
〒014-0041 秋田県大曲市大曲丸子町1-21  
TEL 0187-63-1450  
FAX 0187-63-1627

建設機械・仮設・什器備品・保安用品  
販売・レンタル・サービス  
**株式会社 ほとと**  
TEL 0187-21-1513 FAX 0187-21-1514

**丸栄堂 千の川**  
わごころ会員募集中  
本社営業所 0187-54-2267 大曲営業所 0187-63-1000  
仙北市角館町下菅沢195-1 大曲市佐野町2-6

地酒販売。計り売りのお茶屋  
**鈴竹商店**  
角館町中町9  
TEL54-2201

**田沢湖 角館観光協会**  
TEL 0187-43-2111 FAX 0187-43-2077  
仙北市田沢湖観光情報センター フォレイク  
〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字男坂68  
TEL.0187-43-2111 FAX.0187-43-2077  
仙北市観光情報センター 角館駅前蔵  
〒014-0369 秋田県仙北市角館町上菅沢394-2  
TEL.0187-54-2700 FAX.0187-54-1755  
西木観光案内所  
〒014-0516 秋田県仙北市西木町上荒井字古堀田47  
TEL.FAX.0187-42-8480  
https://tazawako-kakunodate.com/

**TEL.0187-55-2515**

角館のお祭り交通規制図

9/8火

ドローンの飛行・撮影は、交通規制区域内全面禁止です。  
ご理解・ご協力をお願い申し上げます。



この線で折ってご利用ください。

角館のお祭り交通規制図

9/9水

ドローンの飛行・撮影は、交通規制区域内全面禁止です。  
ご理解・ご協力をお願い申し上げます。



令和八年「角館のお祭り」曳山一覽表

| 曳山丁内名         | 正責任者  | 副責任者                             | 囃子方               | 人形外題                                  | 作者           | 解 説                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------|-------|----------------------------------|-------------------|---------------------------------------|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 岩瀬若者一同        | 鈴木 和成 | 柳原 良<br>佐藤 祐樹<br>鈴木 孝史           | 祭 喜 会             | 長久手の戦の竜泉寺山の場<br>・本多平八郎忠勝・羽柴筑前守秀吉      | 広目屋          | 戦の最中、重臣を失った秀吉は自ら軍を率いて戦場へ。竜泉寺川まで進行したところで徳川四天王の一人、本多平八郎忠勝が立ち塞がる。後に天下人となる敵大將の三万の軍勢に対し、忠勝は五百の兵を引き連れて参上し牽制する。その威風堂々たる姿に秀吉は痛く感服し、忠勝に敬意を表し軍を引き返す。生涯無敗を誇ったその猛將を、秀吉は「天下無双の東の大將」と称え、その武勇と忠義に賛辞を惜しまなかったという。                                      |
| 西部若者          | 阿部 龍哉 | 伊澤 浩平<br>伊澤 拓朗<br>小松 竜也          | 秋 月 会             | 小鍛冶<br>・三条小鍛冶宗近・稲荷大明神                 | 文 伶          | 平安時代中頃、一条天皇の勅命を受けた刀匠・三条宗近は、御剣の鍛造を命じられる。しかし、刀を打つために欠かせない相槌を務める者がおらず、稲荷大明神に加護を願った。すると神は童子の姿で現れ宗近を導き、やがて鍛冶場でともに槌を振るう。こうして名剣「小狐丸」は鍛え上げられ、一条天皇へ献上された。                                                                                      |
| 駅前若者          | 高橋 一也 | 高橋 直啓<br>藤原 務<br>佐藤 匠            | 秋 月 会             | 鬼揃紅葉将<br>・平維茂・鬼女                      | 葛谷流<br>駅前若者  | 紅葉の美しい山の中、女たちが紅葉を愛でながら酒宴をしているところに、平維茂の一向が通りかかります。女に酒を勧められた維茂は、美しい舞を見ながら酔って眠ってしまいます。女たちは維茂の眠りを見守り姿を消します。維茂の夢の中に八幡宮の末社ノ神が現れ、女たちが鬼神であると教え、太刀を授けます。目を覚ました維茂は、雷鳴とどろく中、襲いかかる鬼神を激しい戦いの末に切り伏せるのです。                                            |
| 菅沢丁内若者        | 上藤 祐太 | 平田 貞博<br>荒澤 勇希<br>中村健太郎          | 穂 月 会             | 鈴鹿山鬼伝説<br>・坂上田村麻呂・大嶽丸                 | 菅沢丁内若者       | 平安時代、鈴鹿山には鬼神・大嶽丸が住み、妖術や雷を操って人々を苦しめ、都への往来を妨げていた。朝廷はこれを鎮めるため、武勇に優れた坂上田村麻呂に討伐を命じる。田村麻呂は鈴鹿山へ進み、荒れ狂う雷鳴と炎の中で大嶽丸と対峙する。強大な鬼神を前にしても一歩も退かず、武勇と知略を尽くして立ち向かい、ついに激しい一騎打ちへと挑む。                                                                      |
| 本町通のり         | 佐々木裕之 | 大澤 伸<br>安藤 雄介                    | 神代芸能保存<br>嬉 遊 会   | 今孔明 稲葉山城奪取<br>・竹中半兵衛・斎藤龍興             | 広目屋          | 主君・龍興は酒色に溺れて政務を顧みようとせず、一部の側近だけを寵愛して竹中半兵衛や西美濃三人衆を政務から遠ざけていた。龍興の寵臣である斎藤飛騨守に嘲弄されることがあった。数日後、飛騨守が龍興居室の宿直を務めていたとき、竹中は稲葉山城に詰めていた弟・重矩の看病のためと称して入城し、重矩の居室で武装して宿直部屋に居た飛騨守を斬殺して稲葉山城を十六人で乗っ取ったとされている。                                            |
| 駅通のり若者        | 半田 龍介 | 齋藤 政範<br>加藤 康平                   | 愁 明 会             | 紅葉将<br>・平維茂・戸隠山の鬼女                    | 広目屋          | 紅葉が鮮やかに色づく戸隠山を訪れた平維茂は、山中で高貴な姫と侍女たちの一行に出会い、酒宴へ招かれる。姫の優雅な舞に心を奪われ酔いしれた維茂は眠り込むが、山神が現れ、姫の正体が恐ろしい鬼女であると告げる。目覚めた維茂は鬼女と激しく戦い、名剣小鳥丸の力を得てついに討ち果たす。                                                                                              |
| 西勝察町若者        | 三浦 耕輔 | 井上 健太<br>高橋 拓海<br>桜田 賢一          | 秋 月 会             | 耳山の合戦<br>・島津義弘・大友宗麟                   | 文 峰          | 天正六年（一五七八年）、戦国時代後期、織田信長が天下統一を進める一方、九州では島津氏と大友氏が日向国の支配を巡って激突した。大友宗麟率いる大軍に対し、島津義弘は退却を装って敵を誘い込む「釣り野伏せ」の戦法でこれを撃破し、大友軍は壊滅する。この勝利により島津氏は九州南部の覇権を確立し、九州統一へ大きく前進した歴史的な合戦である。                                                                  |
| 桜美町若者         | 亀谷 涉  | 加藤 美貴<br>藤枝 尚登<br>友永 柊           | 飾山囃子弘道流奏秋会        | 助六<br>・花川戸助六・三浦屋揚巻<br>・髭の意休           | 葛谷流 桜雅会      | 花川戸助六（曾我五郎）は、源氏の宝刀「友切丸」を探すため、三浦屋で客に喧嘩を仕掛け刀を抜かせる。この素行を案じ、身を扮して駆けつけた兄・曾我十郎と母・曾我満江だが、助六の真意を知り、無事を願って紙衣を授ける。紙衣をまとった助六は、揚巻の袴裾の陰に身を潜めていたが、意休の打撃に我慢できず姿を現す。意休は自らの刀で香炉台を真っ二つに切り捨てその場を去るが、その刀こそ探していた「友切丸」だった。血の氣に逸る助六は揚巻と共に意休を待ち伏せしようと駆け去って行く。 |
| 七日町丁内         | 荒木 永昭 | 千葉 博幸<br>高橋 隼平<br>荒木 大輔<br>畠山 伸也 | わらび座              | 布引瀧悪源太靈討<br>・悪源太義平・難波経房               | 小 松          | 源義朝の長男、義平は武勇の誉れ高く、その豪勇さから「悪源太」と称されていた。平治の乱で敗れた義平は、平清盛を討つべく京の都に潜伏するが捕らえられ、六条河原で処刑される。義平は介錯人難波経房を睨み、「必ず雷神となって蹴殺さんずるぞ」と言い放ち斬首された。八年後、清盛一行が摂津国布引滝に詣でたところ、一天俄かに雲り、義平が雷神となつて現れた。経房は抜刀し立ち向かうが、雷に撃たれ絶命。義平は復讐を果たすのであった。                        |
| 中央通のり         | 山谷 吉輝 | 高橋 寿史<br>米澤 凌介                   | 奏雅扇舞会             | 源平布引滝<br>・木曾先生義賢                      | 広目屋          | 源平布引滝の木曾先生義賢は、平家全盛の時代を生きた源氏の武将である。義賢は、源氏再興を胸に秘め、正体を隠して使える行綱らと志を通わせる中、平家の使者から屈辱的な要求を受けた事でついに怒りを爆発させる。仲間を逃した後、平家の討手に武器は不要と、優美な素襖大紋（すおうだいもん）を身に着け単身で平家の大軍に向かう。義賢の武士の誇りと覚悟を描いた名場面である。                                                     |
| 横町若者          | 黒澤賢太郎 | 中野 誠<br>佐藤 士行<br>千葉 太生           | 角館山本組             | 大江山鬼退治<br>・酒吞童子・源頼光                   | 横町若者         | 平安中期の物語。都から若者や姫君を拐いた大江山の岩屋に住み着いた鬼「酒吞童子」を源頼光と四天王「渡辺綱・坂田金時など」が勅命を受けて退治に向かう。神仏から授かった「神使鬼毒酒」という毒酒で鬼たちを眠らせ、くびを刎ねて見事に都へ凱旋した。                                                                                                                |
| 山根谷地町<br>旭会若者 | 小瀧 太郎 | 草薨 拓也<br>佐藤 広海                   | 穂 月 会             | 決起前夜 戦雲本願寺<br>・本願寺顕如光佐・明智光秀           | 広目屋          | 將軍足利義昭の策略「織田包囲網」は甲斐の武田、越後の上杉、西国の覇者毛利、浅井に朝倉と名だたる戦国大名が揃う。織田信長はその一角を担う顕如と対立する。石山本願寺は陸路の要であり政治、経済、軍事全てにおいて優れた「難攻不落」の要塞「進めば極楽 退けば地獄」と大書した旗を掲げ、一死報恩の覚悟で進む一向宗に織田軍は攻めあぐねる。そんな中、天下統一の足掛かりとして明智光秀が十年にわたる熾烈な戦いに立ち向かう。                            |
| 北部丁内若者        | 鈴木 昌幸 | 田口 俊光<br>鈴木 悠平                   | 夢 燈 会             | 時今也桔梗旗揚<br>・森蘭丸・安田作兵衛                 | 北部丁内若者       | 物語の主人公は、武將・武智光秀（＝明智光秀）。主君・小田春永（＝織田信長）に仕える光秀だが、ある出来事をきっかけに強い屈辱と怒りを抱くようになっていく。やがてその感情は抑えきれなくなり、ついに光秀は「時は今」と決意し、反旗を翻す……。こうして、後に歴史を大きく動かす本能寺の変へつながっていく。                                                                                   |
| 上新町若者         | 細川 栄太 | 菅原 太陽<br>千葉 天馬<br>田川 礼           | おやまばやし<br>清 友 会   | 鎌倉三代記<br>・佐々木高綱・三浦之助                  | 葛谷流<br>上新町若者 | 『鎌倉三代記』は、鎌倉時代の政争を題材にした時代物で、「絹川村閑居の場」は物語の中心となる場面です。武將・三浦之助義村と妻・時姫が、忠義と夫婦・親子の情の狭間で苦悩する姿を描きます。敵味方に分かれた宿命の中、それぞれが武士としての義を貫こうとする葛藤が丁寧に表現され、時代物ならではの重厚な人間ドラマと悲劇性を味わえる場面となっています。                                                             |
| 下岩瀬町若者        | 大石 道広 | 木元 亮太<br>草薨 伸                    | 神代芸能保存会<br>藤 原 組  | 一ノ谷殲軍記須磨浦合戦<br>・熊谷次郎直実<br>・無官大夫敦盛     | 廿町如月会        | 平家の軍は船に乗り、八島へ向けて退こうとしている。須磨の浜の波打ち際、無官大夫敦盛もその船を目指し沖に向って馬を走らせる途中、引き返して勝負あれとの熊谷次郎直実の言葉に、無官大夫敦盛は引き返し、一騎討ちの勝負に及ぶ。最後は熊谷が敦盛を組み伏せた。熊谷次郎直実は、覚悟を極め自分の首をとれという無官大夫敦盛を憐れみ逃がそうとする。無官大夫敦盛は自分の回向を頼み、熊谷次郎直実はやむを得ず、ためらいながらも無官大夫敦盛の首を討ち落とした。             |
| 東部若者          | 菅原 大樹 | 田口 雄介<br>高橋 怜史                   | 角館おやまばやし<br>櫻 義 会 | 吉野山の戦い<br>・佐藤忠信・横川覚範                  | 葛谷流<br>東部若者  | 平家滅亡を果たすも、兄である源頼朝の怒りに触れ追われる身となった源義経。わずかな家来達と吉野山に入ったが、義経追討の命を受けた僧兵たちが迫っている。この僧兵を率いるのが、吉野一の荒法師と呼ばれる横川覚範である。ここで義経の忠臣・佐藤忠信が自ら四となり覚範と激しい戦いを繰り広げ、花矢倉から矢を浴びせついに覚範を討ち取った。忠信の活躍により義経一行は落ち延びることができたという。                                         |
| 大塚若者          | 高橋 徹  | 黒澤 淳<br>菊地 淳一<br>菊地 麗旺           | 郷土芸能<br>角館飾山囃子保存会 | 源平盛衰記絵巻 壇ノ浦決戦<br>・源九郎判官義経<br>・新中納言平知盛 | 大塚若者         | 一一八五年、源平最後の決戦壇ノ浦。潮流を読み切った義経は巧みな軍略で平氏を追い詰め戦局はいに源氏へ傾く。平家総大将平知盛は「一見るべきほどの事は見つ」と言い残し礎とともに碧き海へ身を沈めた。かくして平氏は滅亡し源氏の世が幕を開ける。本場面は武勇と悲運が交錯する歴史的場面を題材とし義経の知略と知盛の壮絶な最後を描くものである。                                                                   |
| 山原町若者         | 佐藤 健一 | 野中 雅史<br>竹内 賢承<br>高野 豊彦          | 角館お山ばやし<br>扇 栄 会  | 女暫<br>・巴御前                            | 広目屋          | 皇位へ即ぐと目論む悪党の清原武衡が、自らに反対する加茂次郎義綱ら多人数の善良なる男女を捕らえる。清原武衡が成田五郎ら家来に命じて、加茂次郎義綱らを打ち首にしようとする時、鎌倉権五郎景政が「しばらく」の一声で、颯爽と現れて助ける、歌舞伎十八番「暫」の名場面。鎌倉権五郎景政を女方巴御前に置き換えたのが「女暫」である。                                                                         |